TENA

TENAアカデミー×シルバー産業新聞社 共同企画ウェブセミナー

シルバー産業新聞の記者が読み解く！

トリプル改定まで1年、今、取り組むべき介護現場の課題とは

事前申込制・参加無料・Zoomウェビナー・見逃し配信あり

本セミナーはTENAをご利用の医療・介護現場でケアに携わる方を対象としていますが、どなたでもご参加いただけます

介護報酬、診療報酬、障害福祉サービス等報酬の トリプル改定まで1年。介護事業者がすべきことは？

介護保険制度の創設から22年。高齢化は進行し、65歳以上の第1号被保険者は約1.7倍、サービス利用者数は約3.5倍に増加しました。高齢者の暮らしになくてはならないサービスとして社会に定着してきましたが、同時に社会保障財源の増大に伴い、持続可能性な制度設計が求められるようになってきました。

たとえば、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築が検討されており、続く40年には医療・介護ニーズ増大と介護・医療職不足が避けられない中で、テクノロジーやICT活用により、介護・医療職が本来業務に集中できる時間を創り出す「付加価値生産性」の取り組みが目指されています。

その嚆矢として、2024年の報酬改定では、科学的介護や自立支援の深化と取り組み促進のための運用見直しの方針が示されています。人材不足の課題がある中で何をどう変えていけるのか、時間をかけて環境そのものを変えていくために、皆様とともに学びながら手立てを考えたいと思います。

第1回 2023年4月12日(水)15:30～18:00
BCP計画と介護事業者 ～どこから取り組み 、どこまで備える？～
【キーワード】BCP策定猶予終了まで1年、利用者保護、支え手の安全人員確保、 事業継続とサービス継続の順位付け 施設間連携(業界団体・公的団体との連携) 、発災時系列ごとのトイレの備え

第2回 2023年8月予定
「骨太の方針 2024 」に見る 全世代対応型社会保障とは ～求められるアウトカム評価の視点と、現場・人の変革～
【キーワード】データヘルス改革、 ICT ・ テクノロジー活用、科学的介護、 食事・ 排泄・入浴ケア、 認知症ケア 制度化決定！！介護現場革新事例への総理大臣表彰

第3回 2023年11月予定
自立支援と現実 ～転倒予防・尊厳保持と身体拘束、自立支援と自己決定～
【キーワード】自立を実現する組織づくり、人材育成、施設全体で取り組む尊厳保持や自立(自律) 支援

第4回 2024年3月または4月予定
「医療・介護・障害福祉サービス」トリプル改定にどう対応する？
＊ 厚生労働省と内閣府の方向性にあわせてテーマ設定いたします。

堀田 護 さん
シルバー産業新聞社
営業部長

1976年大阪生まれ。2000年関西大学卒。
同年㈱シルバー産業新聞社入社。05年編集部営業主任。12年同営業課長。21年同営業部長。
入社以来の編集・取材業務と共に、05年以降は広告営業・紙面企画も兼任。介護保険制度を中心に、地域包括ケアシステムの推進の中で医療介護連携も担当。
現在は2040年を見据えた「介護医療人材不足」へのテクノロジー・ICT活用と利用者の尊厳(サービスの質向上)の両立について取材活動。広告・紙面企画営業の中で、公的機関・事業者団体・民間企業など年間40本以上のセミナー・講演講師を担当。業界動向と制度動向をクロスさせた切り口が特徴。

お申込みはこちら！
オンラインTENAアカデミー
https://tena-academy.jp/seminar

シルバー産業新聞

1996年創刊。月1回発行の高齢者介護専門紙。介護事業に欠かせない「制度」「市場分析」「地域・現場」「福祉用具・サービス」の4つの柱を情報でつなぎ事業運営、ケアの実践に役立つ最新情報を分かりやすく解説。ウェブサイト「ケアニュース」では介護報酬やケアマネ試験対策などコンテンツも豊富。https://www.care-news.jp/

主催：ユニ・チャーム メンリッケ株式会社　協力：株式会社シルバー産業新聞社
お問合せ：TENAアカデミー セミナー事務局　E-mail：tenaacademy@ucm-kk.com